

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 6 区分

【発行日】平成22年3月11日(2010.3.11)

【公表番号】特表2010-502519(P2010-502519A)

【公表日】平成22年1月28日(2010.1.28)

【年通号数】公開・登録公報2010-004

【出願番号】特願2009-508369(P2009-508369)

【国際特許分類】

B 6 5 D 39/16 (2006.01)

B 6 5 D 39/02 (2006.01)

B 6 5 D 35/44 (2006.01)

B 6 5 D 51/16 (2006.01)

【F I】

B 6 5 D 39/16 Z

B 6 5 D 39/02 D

B 6 5 D 35/44 J

B 6 5 D 51/16 Z

【手続補正書】

【提出日】平成20年11月17日(2008.11.17)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ベースプレート(10)およびタブ(1)を有するオーブナであって、使用時に金属蓋パネル(21)の孔を閉じることができ、パネル(21)の一面にはベースプレート(10)が設けられかつ他面にはタブ(1)が設けられ、ベースプレートおよび/またはタブが更に壁(12)を備え、該壁(12)がプレートまたはタブからそれぞれ垂直に延びていて、蓋の孔の周囲をシールすべく孔の縁部と締め込みまたは摩擦嵌めを形成する構成のオーブナにおいて、

オーブナが、金属蓋パネルを備えた金属蓋と組合せて使用されるとき、タブ(1)の操作がベースプレート(10)の移動に変換され、

蓋パネルおよびオーブナが、蓋パネルに対してオーブナを移動させて開放および再閉鎖を行う補完構造を有していることを特徴とするオーブナ。

【請求項 2】

前記補完構造は、蓋パネルの第一カムプロファイル(29)およびベースプレートの第一カムフォロワ(28)を有していることを特徴とする請求項 1 記載のオーブナ。

【請求項 3】

前記補完構造は、蓋パネル上の 1 つ以上のレールおよびベースプレート上の 1 つ以上の溝、または蓋パネル上の 1 つ以上の溝およびベースプレート上の 1 つ以上のレールを有していることを特徴とする請求項 1 記載のオーブナ。

【請求項 4】

前記ベースプレートは蓋パネルの下面と協働してシールを形成し、該シールは、蓋がその閉位置にあるときに内部圧力が発生すると付勢されることを特徴とする請求項 1 から 3 のいずれか 1 項記載のオーブナ。

【請求項 5】

前記シールは、蓋が再閉鎖されると再び付勢されることを特徴とする請求項４記載のオープンナ。

【請求項６】

前記ベースプレート（１０）は、該ベースプレート（１０）から垂直に離れる方向に延びているボタン（１４）を備え、タブ（１）はリベット孔（１５）を備え、タブ（１）は、ボタン（１４）をリベット孔（１５）内にかしめてリベット（１１）を形成することにより、パネル（２１）の一面上にはベースプレート（１０）が配置されかつ他面上にはタブ（１）が配置されるようにしてベースプレート（１０）に固定されることを特徴とする請求項１から５のいずれか１項記載のオープンナ。

【請求項７】

前記タブは、ベースプレートまたは蓋パネルの補完通気孔を通して延びることができるラグを有していることを特徴とする請求項１から６のいずれか１項記載のオープンナ。

【請求項８】

前記タブは、通気および／または再閉鎖を行う１つ以上のヒンジを有していることを特徴とする請求項１から７のいずれか１項記載のオープンナ。

【請求項９】

請求項１から８のいずれか１項記載の金属蓋とオープンナとの組合せ。

【請求項１０】

タブプロファイルを更に有し、該タブプロファイルは、第二カムフォロワとして機能する構造および第二カムとして機能する蓋の補完構造、または第二カムとして機能する構造および第二カムフォロワとして機能する蓋の補完構造を有することを特徴とする請求項９記載の組合せ。

【請求項１１】

前記蓋は、第二カムとして機能するチャック壁を備えた缶端部であることを特徴とする請求項１０記載の組合せ。

【手続補正２】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００６

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００６】

本発明によれば、ベースプレートおよびタブを有するオープンナであって、使用時に金属蓋パネルの孔を閉じることができ、パネルの一面にはベースプレートが設けられかつ他面にはタブが設けられ、ベースプレートおよび／またはタブが更に壁を備え、該壁がプレートまたはタブからそれぞれ垂直に延びていて、蓋の孔の周囲をシールすべく孔の縁部と締め嵌めまたは摩擦嵌めを形成する構成のオープンナにおいて、

オープンナが、金属蓋パネルを備えた金属蓋と組合せて使用されるとき、タブの操作がベースプレートの移動に変換され、

蓋パネルおよびオープンナが、蓋パネルに対してオープンナを移動させて開放および再閉鎖を行う補完構造を有していることを特徴とするオープンナが提供される。